

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月17日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援の仕組み：法人内の様々な部署や部門と連携し、子どもやご家族へ必要に応じて支援を提供しています。	事業所内面談や親子発達支援などを通して、子どもや家族のニーズを聞いて、ショートステイに利用をつなげたり、相談室につなげたりしています。 また、グループカウンセリングやグループスタディでお母さんたちが困り感を話したり、学べる機会があるので、参加出来るように誘っています。	引き続き、様々な制度について職員も勉強し、他部署や部門とも連携して、子どもやご家族のサポートが出来るようにチームで取り組んでいきます。
2	人材育成：法人研修、年次別研修や朝研修、講師を招いて部門別研修など多岐にわたっています。 また、グループスーパービジョン、個別スーパービジョンでクラスや個人のよかったことや課題などを共有し、解決していく仕組みが作られています。	市内や道外の研修にも参加させてもらって勉強しています。勉強したことを必ず、報告する仕組みも作られています。 グループスーパービジョンでは、クラスでよかったことや、こうしたほうがよかったことを話をして、次の支援につなげていけるように話し合っています。	引き続き、研修に積極的に参加し、専門性の高い支援が出来るように努めていきます。
3	子どもの安心・安全：法人をあげて、子どもの安心・安全のための人数確認を徹底して取り組んでいます。また、職員手帳の安全のルールを毎朝唱和してから現場に入っています。	子どもたちが登園したら、人数確認をして事務所に子どもの人数を報告しています。活動から戻ってきたあとも、必ず人数を報告し、絶対に子どもがいないことがないように取り組んでいます。移動の時は、先頭、中間、最後に職員がたち、決められたタイミングで人数確認を必ず行うルールや大人が目と目、言葉と言葉、心と心でつながって行くことを意識しながら療育を行っています。	引き続き、子どもたちの安全を守るために、ルールを守り、人数確認や配置を徹底していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	並行通園先の幼稚園や保育園との連携、地域の幼稚園や保育園との交流する機会が少なかったです。	必要に応じて並行通園先の見学や情報共有などの連携することが出来ましたが、地域の幼稚園や保育園との交流する機会を積極的に働きかけることができませんでした。	並行通園先の幼稚園や保育園との関係を深め、交流する機会を作れるように努めていきます。
2			
3			